

岐阜大学 教育推進・学生支援機構年報 第5号 発刊にあたって

岐阜大学教育推進・学生支援機構長 江馬 諭

平素は、本学教育推進・学生支援機構の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

平成 25 年 12 月に発足しました当機構も、おかげ様で丸 6 年を迎えることができました。これまでの 6 年間、当機構を構成する 7 つの部門では、それぞれ本学の教育改善に向けて日夜努力を重ねて参りました。この間、障害学生支援室やイングリッシュ・センターの設立、全学的な教育の内部質保証を実施するため教学企画室会議の充実に取り組んできました。今後は、機構の機能をさらに充実するとともに、岐阜大学と名古屋大学との法人統合における教育や学生支援の連携を密にするために、令和 2 年 4 月の機構改組を目指しています。

本年報は、そうした部門の平成 30 年度中の活動について記録するとともに、機構を中心とした本学教職員の日頃の教育実践や、高等教育に関する学術研究の成果を発表することを目的としています。

このたびの第 5 号では、各部門の活動報告に加えて、研究論文 5 本、実践報告 13 本、研究ノート 1 本、そして本学の学部生を対象に毎年開催しております「岐阜大学学生レポートコンテスト」の入賞作品 4 本を掲載しております。

今号もこれまでどおり、インターネット上でご覧頂くオンラインジャーナルとしております。バックナンバーも、岐阜大学のトップページから「教育推進・学生支援機構」→「年報 (ISSN : 2189-664X)」とお進みになることでご覧頂けます。

今後とも本学当機構の取組をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。